

## 第533回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成20年7月23日（水）午前11時
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- |         |  |
|---------|--|
| 委員数     | 11名                                      |
| 出席委員    | 8名                                       |
| 出席委員の氏名 |  |
| 委員長     | 田代 高章                                    |
| 副委員長    | 宮澤 徳雄                                    |
| 委 員     | 大村友貴美 河村 泰信<br>熊谷志衣子 澤口たまみ<br>田辺 博 矢佐 俊幸 |
| 欠席委員の氏名 |  |
|         | 工藤 和彦 小松 務<br>杉本 博                       |
- 会社側出席者
- |       |             |
|-------|-------------|
| 阿部 正樹 | 代表取締役社長     |
| 川島 敬司 | 専務取締役       |
| 熊谷 鉄郎 | 取締役テレビ編成局長  |
| 川上 隆  | 取締役ラジオセンター長 |
| 柴田 継家 | 報道局長        |
| 佐藤 宏邦 | 報道部副部長      |
- 事務局
- |       |            |
|-------|------------|
| 馬場由紀子 | 番組審議会事務局長  |
| 小笠原 勉 | 番組審議会事務局次長 |
4. 議 題 IBC報道特別番組『浄土・込められた想いを世界へ』

## 5. 議事の概要

### <委員の主な発言>

- ・最後に地元の小学生たちが出てきたのは、次世代に橋渡ししたいという意味で構成上工夫が見られた。自分たちが引き継いでいくという子どもたちの決意も十分に伝わり、3年後に向けて力強いメッセージになった。
- ・今までの世界遺産は、見た目で分かりやすいパターンで勝負をかけてきたが、平泉の世界遺産は思想から攻めてくるところに難しさがあつた。今後どのようなアプローチで進んでいくのか、注目したい。
- ・説明の難しさがそのまま番組に表れていて、制作している方も実は迷いながら作っていたのではないかと、というのが正直な感想です。岩手県人としては、実は平泉のことを私もわかっていないことがわかつた番組でした。今後どういう形で世界にアピールしていくのか、そのアピールポイントで今後も番組制作を考えてほしい。
- ・幅広く今回のプロセスを追うとか、文化遺産の概要はどうなつているのか、浄土思想とはどういうものなのか、地元の人たちはどう考えていたのかなどを全網羅的にまとめていました。全体をもう一度振り返り、総括してみるとという意味で良かったと思う。

### <社側>

- ・番組のコンセプトは、改めて平泉の文化遺産の価値を県民の皆さんにお伝えしたいというのが第一でした。言い換えれば、平泉を今後に向けて応援しよう、未来を見据えて希望的な番組にしたい。  
登録延期が決まつたのが7月7日、放送までの5日間でどのように考えていたのかですが、基本的には平泉の文化遺産の魅力は何なのか。浄土思想を基調とする文化的景観と名称がつけられているが、その浄土とは何なのかについてあまり説明していなかつた。そこを分かりやすくお伝えしたいと考えて制作しました。